

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-14	高等学校	公民科	政治・経済	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

高度で複雑な政治・経済の内容を体系的に整理するとともに、時事的な題材を積極的に教材化することで、政治・経済の基本的な概念や理論を、具体的な事例を通して、生徒が問題意識をもって学習できるように工夫した。また、現代社会の諸課題については、さまざまな意見があることに配慮して、対立する意見を併記するなど、広い視野に立って公正かつ客観的な見方や考え方ができるようにした。さらに、各課題を探究し、その結果導き出されたみずからの考え方を適切に表現する能力や態度を身につけられるように留意した。

## 2. 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

1. 政治・経済における諸制度や諸原理を理解させるとともに、現代の政治・経済の動向を多角的に考察できるようにした。
2. 客観的な認識と公正な判断力に基づいて、健全な批判力を身につけ、主体的に生きる公民としての能力や態度を育成できるように配慮した。
3. 各節のはじめには「ポイント」を設けて学習内容の着眼点を明確にし、問題意識をもって学習できるようにした。
4. 時事的な内容を扱う箇所には、具体的な事例を丁寧に扱った「FILE」を設けて本文の記述を補完し、政治・経済への理解がいつそう深まるようにした。
5. 法教育や経済教育、金融教育、消費者教育に関連する箇所には、「THEME」を設けて本文の記述を補完し、現代社会に生きる公民としての資質を身につけられるようにした。
6. 第3編は、第1・2編で学習した内容と関連させながら、現代の諸課題について2つの視点から考察させ、望ましい解決のあり方を考察できるようにした。さらに、「探究課題例」で課題を調べ、自分の考えを表現し、または話し合うことを通して、言語活動の充実を図ることができるようにした。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と 日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編扉や本文ページの冒頭で、政治を学習する上での心構えを説き、また、政治がどのような役割を果たしているのかを把握できるようにすることで、幅広い知識と教養を身につけられるように配慮した(第1号)。</li> <li>・ルールづくりの重要性や、ルールや法を守る義務と責任を取り上げ、公民としての資質を養うことができるようにし、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにした(第3号)。</li> <li>・日本国憲法第13条「個人の尊重」や第27条「勤労権」を十分に理解させるとともに、新しい人権として「自己決定権」を丁寧に扱うことで、個人の価値の尊重や勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。</li> <li>・日本国憲法の諸条項は丁寧に扱い、特に男女の平等についてはさまざまな法令によって推進されていることが理解できるようにした(第3号)。</li> <li>・主権者として政治に対する関心を高め、主体的に社会の形成に参画すべきことを説いた(第3号)。</li> </ul>	p.5～6  p.9  p.39, 47, 52  p.39～48, 52  p.81, 83
第1編 現代の政治 第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際紛争の諸要因や紛争・対立の事例、国際紛争の解決に向けた取り組みを丁寧に取り上げるとともに、人種・民族問題は基本的な人権にかかわる宗教や生き方の問題であることに触れた(第2号・第3号・第5号)。</li> </ul>	p.100～104

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1編の最後に、人類の平和や国際社会に対する日本の役割を取り上げ、日本は積極的に国際貢献を果たすべきことを明記した(第3号・第5号)。</li> </ul>	p.112
第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編扉や本文ページの冒頭で、経済を学習する上での心構えを説き、また、経済の基本原則を把握できるようにすることで、幅広い知識と教養を身に付けられるように配慮した(第1号)。</li> <li>・企業には利潤の追求だけでなく、企業統治の実現や社会的責任を積極的に果たし、環境保全や地域社会における慈善事業、芸術・文化への支援活動などを行うことも求められていることを示すことで、職業生活においても、正義と責任を重んじ、環境保全や文化の尊重などに積極的に関与する態度を養えるようにした(第3号・第4号・第5号)。</li> <li>・労働基本権や労働三法などの労働法制を丁寧に上げるとともに、非正規雇用の増加や女性の労働環境など今日の労働をめぐる諸問題を深く理解できるようにすることで、個人の価値の尊重や男女の平等、職業及び勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号・第3号)。</li> <li>・公害や地球環境問題の事例を丁寧に扱うとともに、環境保全のための世界的な行動や、循環型社会に向けた取り組みを取り上げて、持続可能な社会を形成する必要性を説いた(第4号)。</li> </ul>	p.113～115 p.126 p.174～178 p.187～195
第2編 現代の経済 第2章 国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2編の最後に、日本は経済大国として、ODAなどを通じて国際社会に果たす役割が大きいことを理解できるようにすることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮した(第5号)。</li> </ul>	p.218
第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編扉で、現実社会の諸問題は政治的な問題と経済的な問題、国内問題と国際問題が密接に結びついていることを把握できるようにした上で、第3編を通してさまざまな具体的な問題を解決するために、みずから考え、取り組む態度を養えるようにした(第1号)。</li> <li>・これからの地方自治を考える上で、市民として地域を支えていくにはどのような取り組みが求められているのか考える必要があることを示した(第3号)。</li> <li>・今日の労働問題を考察し、これからの労使関係と労働市場のあるべき姿を模索することができるようにした(第2号)。</li> <li>・日本には伝統的な地場産業が多くあることを、具体的事例を取り上げて理解できるようにした(第5号)。</li> </ul>	p.219 p.223 p.224～225 p.226～227
第3編 現代社会の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題については、国家や企業の取り組みだけでなく、個人も一人の生活者として積極的に解決していこうとする自覚が必要であることに言及した(第3号・第4号)。</li> <li>・国際社会において日本が果たすべき役割について、国益の追求と人類共通の利益の追求といった観点から、それぞれ考察できるようにするとともに、私たち自身もまた地球社会の一員であるという自覚をもち、国際平和と人類の福祉の実現に向けて何ができるかを考え、行動する必要性があることを強調した(第5号)。</li> </ul>	p.230～231 p.236～237

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、私たちの暮らす社会におけるさまざまな法令を実感できるよう、巻末資料として日本国憲法や労働基準法をはじめとする各種法令等を紹介した。
- ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身に付くよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

（学習指導要領との対照表，担当授業時数表）

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-14	高等学校	公民科	政治・経済	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済		

## 1．編修上特に意を用いた点や特色

- 1．現代の日本の政治や国際政治の動向について，広い視野から理論的・体系的に考えさせながら，政治についての基本的な見方・考え方を養えるようにした。
  - ・基本的人権が確立されてきた歴史的経緯をふまえて，法の支配は民主政治に不可欠な原理であることを理解できるようにするとともに，諸外国の政治制度を比較し，議会制民主主義の本質を把握できるようにした。
  - ・日本国憲法に対する理解が深まるように，基本原理である基本的人権の尊重・国民主権・平和主義をはじめ，憲法の内容については丁寧に解説した。
  - ・国会・内閣・裁判所といった政治機構や地方自治制度は，基本的な事項を概観するとともに，裁判員制度や選挙制度の学習を通して，国民の司法参加・政治参加の意義について理解できるように配慮した。
  - ・主権者として政治に対する関心を高め，主体的に政治に参画する姿勢を持たせることができるように配慮した。また，住民運動や世論形成についても具体的に取り上げて，深く考察できるように配慮した。
  - ・国際法の意義や，国際連合をはじめとする国際機構の役割については丁寧に解説し，多くの国際機関やNGOが国際社会におけるさまざまな課題に取り組んでいることを理解できるように配慮した。
  - ・今日の国際社会の動向や民族問題を取り上げる際には，世界には多くの文化や宗教が存在していることに着目できるように配慮するとともに，国際紛争はさまざまな要因によって引き起こされていることを理解できるようにした。
  - ・これまでの軍縮・核廃絶への国際的な取り組みを取り上げ，日本もまた，自国の平和と安全を確保しつつ，国際平和のために果たすべきことがあるということを理解できるように配慮した。また，国際社会における日本の役割については，広い視野から考察できるように配慮した。
  - ・日本固有の領土をめぐる諸問題については，平和的な解決に向けた努力の必要性を認識させるとともに，現状に至る経緯や日本の正当な立場を理解できるように配慮した。
  
- 2．経済の基本的な概念や原理を理解させるとともに，経済についての基本的な見方・考え方を身につけられるようにした。
  - ・経済と国民生活とのかかわりを取り上げ，国民所得や経済成長，インフレ・デフレなど，経済の基本的な概念や理論を学習できるように配慮した。
  - ・現代経済の特質について，さまざまな視点から主体的に探究させながら，経済活動と福祉の向上との関連を考察できるように配慮した。
  - ・経済活動の意義や家計・企業・政府の役割について把握できるように配慮した。また，市場経済は資源の最適配分がおこなわれることによって国民生活の向上に寄与している一方，実際には独占や寡占，公害などによって消費者や住民が不利益を被ることもあり，市場の失敗が存在するというように理解できるようにした。
  - ・金融政策や金融の役割について把握させるとともに，金融を取り巻く環境の変化や金融システムの安定化のための政策にも触れた。また，資産運用については直接金融の意義とともに，自己責任が原則であることを認識できるようにした。
  - ・財政が政府による経済活動であることを認識させながら，財政政策が国民福祉の向上に努めていることや，租税の意義と役割，国債の発行の目的と問題点などを丁寧に解説した。
  - ・為替相場や国際収支の仕組みなどの国際経済に関する基本的概念と理論について丁寧に解説するとともに，グローバル化の進展にともなう国際金融市場の拡大とその問題点など，今日の国際経済の特質が理解できるようにした。
  - ・第二次世界大戦後の国際経済体制の変容と国際協調の変遷とともに，地域的経済統合をはじめとした自由貿易を推進するための取り組みについて丁寧に解説した。
  - ・経済成長が著しい新興国がある一方で，モノカルチャー経済を脱していない後発発展途上国の存在にも触れ，ODAの重要性や，国際経済の中での日本の役割について考察できるように配慮した。

3. 第3編は、第1編と第2編で学習した成果を生かし、この科目のまとめとしての性格を持たせるように配慮した。

- ・現代日本及び国際社会の政治や経済の諸課題を、政治と経済とを関連させながら、多面的・多角的に追究し、持続可能な社会の形成に向けて望ましい解決のあり方を考察できるように配慮した。
- ・政治や経済に関する事象を考察した過程や結果について、適切に表現する能力と態度を持つことができるように、「探究課題例」を設け、言語活動の充実を図った。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 現代の政治	(1)現代の政治		
第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	ア 民主政治の基本原則と日本国憲法		
政治と法の機能		6～9頁	1
人権保障と法の支配		10～17頁	2
議会制民主主義と世界の政治体制		18～24頁	1.5
日本国憲法の基本原則		25～31頁	1.5
平和主義と自衛隊		32～38頁	1.5
基本的人権の保障と新しい人権		39～52頁	3
国会の組織と立法		53～56頁	1
内閣の機構と行政		57～61頁	1
裁判所の機能と司法制度		62～68頁	1.5
地方自治制度と住民の権利		69～73頁	1
政党政治と選挙制度		74～81頁	1.5
民主政治における世論の役割		82～83頁	0.5
第2章 現代の国際政治と日本	(1)現代の政治		
国際社会と国際法	イ 現代の国際政治	84～87頁	1
国際連合の組織と役割		88～92頁	1
国際政治の動向		93～99頁	1.5
国際紛争と難民問題		100～105頁	1.5
軍備管理と軍縮		106～108頁	1
日本の外交と国際平和への役割		109～112頁	1
第2編 現代の経済	(2)現代の経済		
第1章 現代経済のしくみと特質	ア 現代経済の仕組みと特質		
経済社会の発展		114～120頁	2
経済主体と経済活動		121～126頁	1.5
市場経済の機能と限界		127～132頁	1.5
経済成長と景気変動		133～136頁	1
物価の動き		137～138頁	0.5
金融のしくみとはたらき		139～146頁	2
財政のしくみとはたらき		147～152頁	1.5
日本経済の歩み		153～161頁	2
中小企業の地位と役割		162～163頁	0.5
農業の現状と課題		164～166頁	0.5
消費者問題		167～169頁	0.5
高度情報社会の進展と課題		170～171頁	0.5
労働問題		172～178頁	2
社会保障制度の充実		179～186頁	2
環境保全と資源・エネルギー問題		187～195頁	2
第2章 国民経済と国際経済	(2)現代の経済		
国際経済のしくみ	イ 国民経済と国際経済	196～202頁	2
国際協調と国際経済機関の役割		203～206頁	1
地域的経済統合		207～210頁	1
グローバル化する経済		211～214頁	1
南北問題と日本の役割		215～218頁	1

<p>第3編 現代社会の諸課題</p> <p>第1章 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>少子高齢社会と社会保障</p> <p>地域社会の変貌と住民生活</p> <p>雇用と労働をめぐる問題</p> <p>産業構造の変化と中小企業</p> <p>農業と食料問題</p>	<p>(3)現代社会の諸課題</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p>	<p>220～221 頁</p> <p>222～223 頁</p> <p>224～225 頁</p> <p>226～227 頁</p> <p>228～229 頁</p>	<p>いくつか を選択 8</p>
<p>第2章 国際社会の政治や経済の諸課題</p> <p>地球環境と資源・エネルギー問題</p> <p>国際経済格差の是正と国際協力</p> <p>人種・民族問題と地域紛争</p> <p>国際社会における日本の立場と役割</p>	<p>(3)現代社会の諸課題</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p>	<p>230～231 頁</p> <p>232～233 頁</p> <p>234～235 頁</p> <p>236～237 頁</p>	<p>いくつか を選択 6</p>
		<p>計</p>	<p>64</p>